

「世界の取り組み」

森本一成

75 回生の皆さん。元気に過ごしていますか。5 月末まで学校の休業が延長されました。そして、予想通り学区制を 9 月入学へという議論が始まりました。それはともかく、私は延び延びになるより、いっそ「半年ずらしますので安心して休業してください」と示していただく方が不安に襲われなくて良いと考えます。学校に属して学んでいるみなさんが私たちの未来です。そのみなさんのことを最重要事項と考え、取り組むべきと考えます。そう簡単にはいかないのでしょうね。

今、各国はいろいろな方法で新型コロナ対策に取り組んでいます。大胆なスウェーデンから日本、韓国、都市封鎖まで。どれが一番最善な方法なのか現在は分かりません。近い将来、この困難を世界が乗り越えたとき、時が経ち現在を過去として振り返るとき、そして各国が情報を素直に出し合い、検証したときに分かります。森本の「ちょっと生物」でも触れましたが、人類はこれからもウイルスとの戦いが続きます。今回の犠牲は甚大ですが、このような過ちを教訓として生かすことにかけては日本は世界一だと思います（戦後、一度も憲法を改正していないことがすべてを物語っています）。将来はみなさんにかかっています。学びを続けましょう。

「これからの過ごし方」

火ノ口絵美

みなさん、いかがお過ごしですか。1 学年の副担任・生物基礎を担当する火ノ口(ひのくち)です。課題に取り組んだり動画を視聴したりと、学習は進められていますか？入学してすぐにこういった状況になって心が落ち着かない、という人もいるかもしれませんが、今できることを少しずつ積み重ねていってほしいです。

自宅での学習は、学校や図書館などとは違い、つつい漫画やゲームに手が伸びてしまう・・・という人もいるかもしれませんね。特にパソコンやスマホを使っでの学習では、誘惑が多いかもしれません。ちょっとした息抜きに、と思っ勉強モードが完全にオフになってしまうと、再びオンにするのは大変です。このあたりで一度、自分の学習スタイルを見直してみてください。

また、テレビやネットから情報を得るのも大切ですが、すこし離れて本・書籍（今は買いに行けないので Kindle などの電子書籍でも）を読むと勉強になることが多いと思います。ぜひ、読書に没頭してみてください。



「芸術科便り」

音楽担当：植村浩之

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための臨時休校も2か月になります。当初は休校がこんなに長くなるとは夢にも思わず、75回生のみんなどは入学式と10日に顔を合わせて以来になってしまいました。みんなはきっと、「さあ、これから始まる高校生活を頑張ろう！！」と思ったまま休校・・・ですよ。

みなさん、元気にしていますか？

あらためまして、音楽担当、1-2担任の植村浩之です。

今回は、私が音楽の授業で集中的に取り組む予定の「ミュージカル♪」についてお話します。ミュージカルは「歌う」「演じる」「動く（踊る）」という複数の要素から成り立つ総合芸術です。最近はやっとしたブームになっているので、みなさんもよく知っているでしょう。なかでも、授業で取り上げるのは『美女と野獣』です。

この作品は親しみやすいストーリーに加え、登場人物も多く、それぞれが個性的で、音楽も素晴らしいのが特徴です。主な登場人物は、

- ① ベル（主役の女の子）
- ② 野獣（野獣に変えられた王子）
- ③ ガストン（狩人）
- ④ ルファー（ガストンの子分）
- ⑤ ルミエール（ろうそく）
- ⑥ コッグスワース（時計）
- ⑦ ポット夫人（ポット）
- ⑧ チップ（ポット夫人の子）
- ⑨ モリス（ベルの父）
- ⑩ ピアノ伴奏（3人くらいで分担）

これらの役を中心に、その後も各クラス音楽選択者で分担し、全曲から7~8曲を抜粋して50分程度で上演できるよう練習していきます。そして、ナレーションや寸劇を交えてストーリーがつながるよう工夫し、年度末に発表したいと考えています。

この機会に、音楽選択者はDVDを観るなどしてどの役をやろうかな？と考えておいて下さい！！

美術担当：秋元和恵

芸術科選択科目「美術Ⅰ」を担当します、秋元です。1年間よろしくお願いします。皆さんと一度も顔を合わせないまま、このような形の挨拶になってしまったことが、とても残念です。

こんなにも家の中にいるという経験は皆さんも初めてかも知れませんが、どのように過ごしているでしょうか。西高の先生方は容赦なく本気で課題を出してくるので、大変かも知れませんが、今はネットで音楽を聞いたり映画をみたり、家の中にも楽しめるツールが豊富にありますので、ホドホドにうまく付き合ってください。

さて、皆さんは姫路西高に入学し、必修芸術科目として「音楽1」「美術1」「書道1」のどれか一つを選んだことと思います。全部好き！もしくは全部無理…の究極の選択だったでしょうか。それとも、簡単に心決まったでしょうか。

私はみなさんそれぞれが宝物を持っていると思っています。何がそれかというのは、また授業でお話したいと思いますが、美術の時間は、正解ではなく、自分が感じ考えることを大切にして欲しいと思っています。1年間という短い時間ではありますが、みなさんの持つ宝物を存分に発揮できる時間にしたい、と思っています。

教科書はもう手元にあるでしょうか。前期は色や形の学習をベースにデザイン表現に取り組む予定です。P38～43、76～80を見ておいてください。

長い長い休校となってしまっています。でも、今しかできないこともあるはず。再開後は、ハイスピードで授業を進めることになるかもしれませんが、皆さんと作品作りができることを楽しみにしています。

書道担当：福永健吾

75回生、書道選択者諸君、はじめまして。

予習してる？

書写も書道もその作品の評価は「線質」でほぼ決定されます。良い造形は、良い線質を伴うとは限りませんが、良い線質は、良い造形を生むと思っています。

人間に例えると造形＝容姿風貌。線質＝人間性…。線質に目を向けたいものですね。

休校明け諸君に会うことを楽しみにしています。